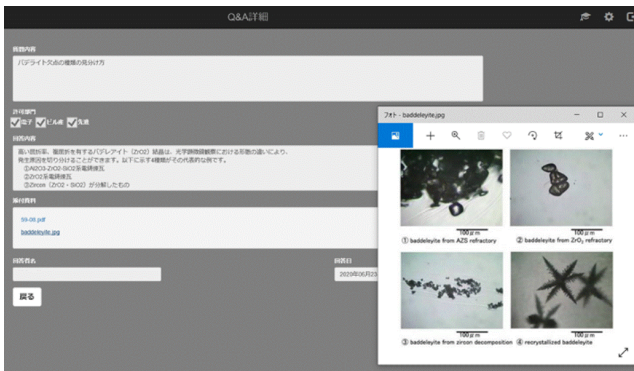


2020年7月2日

AGC、FRONTEOと共同でAI Q&Aシステム「匠 KIBIT」を開発 —ガラス製造の匠をコンピューター上で実現—

AGC株式会社（本社：東京、社長：島村琢哉）と株式会社FRONTEO（本社：東京、社長：守本正宏、以下FRONTEO）は、コンピューター上にガラス製造の知見を集約し、AIを用いて簡単にその知見を引き出すことができる、AI Q&Aシステム「匠 KIBIT」を共同で開発しました。当社グループの国内ガラス製造拠点中心に運用を開始しており、今後は欧州を含む世界中の当社グループのガラス製造拠点に、本システムの展開を検討しています。



AI Q&A システム「匠 KIBIT」



「匠 KIBIT」使用時の様子

ガラス製造は、溶解・成形・加工などの複数の技術が組み合わされており、操業には独自の高い技術力が必要です。技術力が他社との差別化に繋がっている一方、各工場が蓄積したノウハウの共有や、熟練技術者から若手技術者への技能伝承が大きな課題となっていました。

AGCは、AI や IT を用いてこれらの課題を解決する「匠プロジェクト」を 2017 年より開始しました。その中で FRONTEO が保有する、自然言語解析 AI エンジン KIBIT[®](キビット)を活用し、ガラス製造 AI Q&A システム「匠 KIBIT」を新たに開発しました。本システムにより、熟練技術者の保有するガラス製造の知見をグループ内の技術者が簡単に引き出すことが可能になります。「匠 KIBIT」の主なプロセスは以下の通りです。

1. 質問：聞きたい質問を入力
2. 学習：質問の特徴を KIBIT[®]が学習
3. 評価：KIBIT[®]によるスコアリングを実施
4. 回答：類似度の高い質問に紐付いた回答を質問者に提示

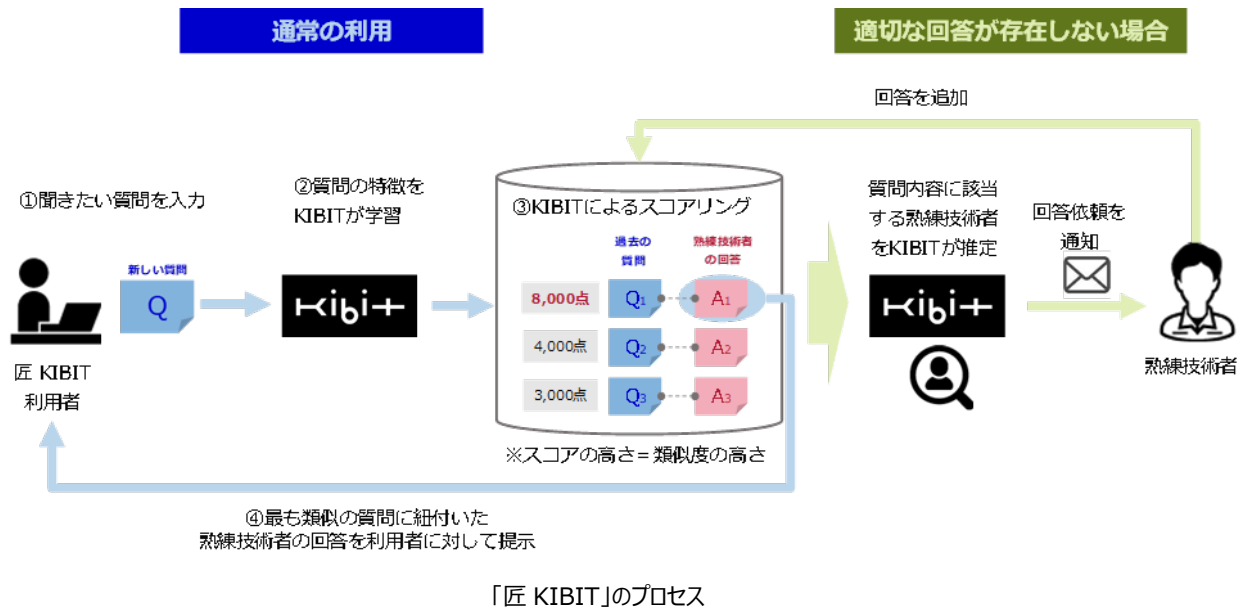
◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR 部長 玉城 和美

(担当：北野 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com)

*個人情報は当社プライバシーポリシーに従ってお取り扱いをさせていただきます。

自動回答できなかった質問は、該当する熟練技術者を KIBIT®が推定し、その熟練技術者に対して回答依頼を自動的に通知し、回収することで、自立的にデータベースを拡充できる仕組みを実現しています。本システムは 2017 年より国内ガラス製造拠点でトライアルを開始し、月間 300 件以上の利用があり、技能の共有と伝承に着実な成果を上げています。



AGC グループは、経営方針 **AGC plus**のもと、デジタル技術を活用しビジネスプロセスの変革を行う“スマート A G C”を推進しています。製造・研究開発・営業等あらゆる業務のビッグデータを活用し、業務の更なる効率化やお客様への新たな付加価値の提供を目指していきます。

<ご参考>

■FRONTEO について

FRONTEO は、独自に開発した自然言語解析 AI（人工知能）エンジン「KIBIT®(キビット)」などにより、情報解析を支援する企業です。国際訴訟などに必要な電子データの証拠保全と調査・分析を行う e ディスカバリ(電子証拠開示)や、デジタルフォレンジック調査を支援する企業として 2003 年 8 月に設立、自社開発のデータ解析プラットフォームなどの技術を駆使し、現在までに約 1 万件の国際訴訟対策を支援してきました。また、リーガル事業で培った独自の AI 関連技術を、ライフサイエンスやビジネスインテリジェンスなどの領域に展開し、創薬研究支援や診断支援、働き方改革でも実績をあげています。

URL: <https://www.fronteo.com/>

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR 部長 玉城 和美

(担当：北野 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com)

*個人情報は当社プライバシーポリシーに従ってお取り扱いをさせていただきます。